



# 募金の方法はいろいろあるよ～

募金活動には、こんな形で参加できます。

## お店とコラボ“寄付つき商品”

協力いただいている店舗や企業で「寄付つき商品」を購入すると、その売上の一部が寄付されます。

負担なく募金活動ができ、買った人も店舗や企業もみんなが笑顔になる募金方法です。



## “募金箱”を見つけたら

駅前やスーパーマーケットの入口、お店などに募金箱が置かれています。募金箱を見つけたら温かい気持ちをお願いします。

街頭募金を行っていることもあります。



## 寄付につながる“自動販売機”

赤い羽根のマークがついた自動販売機で飲み物を購入すると、その一部が寄付されます。

いつものように買うだけで、のども心も潤います。



## “赤い羽根限定グッズ”で推す

バッジ、クオカード、図書カード、ボールペン、クリアファイルなどを活用した募金方法です。



## “ネット”から思いを伝える

インターネットから、あなたの思いやりを寄付できます。



## 「赤い羽根」の どうして?



## 「赤い羽根共同募金」の羽根は、 どうして赤色なの?

「赤い羽根」は、“勇氣”と“良い行い”のシンボルだからです。

アメリカの先住民は、いろいろな色の羽根がざりを頭などにつけていましたが、羽根には色によって意味がありました。

勇氣のある行いや、良いことをした人が、「赤い羽根」をつけていたと言われています。

## 「赤い羽根共同募金」は、 いつから始まったの?

日本の「赤い羽根共同募金」は、今から70年以上前の1947年に始まりました。

太平洋戦争がおわって、焼け野原でたくさんの人たちが苦しんでいるなかで、助けあいの「赤い羽根共同募金」がはじまりました。最初は、戦争で家や家族を失った子どもたちのために、寄付が役立てられました。

だれもが苦しい生活でしたが、5億円をこえる寄付が集まりました。

